

モデリング課題に取り組む第一歩

2008年8月22日

POSY 松本憲洋

matsu@posy.co.jp

モデリング & シミュレーションに取り組む第一歩として、以下に記す踏み出し方が効果的です。

準備1

自分が解決したい問題あるいはその一部をピックアップする。
その課題が、SDの活用により解決できるかどうかを判断します。
その流れを下記にURLに沿って判断してください。

URL: <http://www.posy.co.jp/SD-for-business-f.htm>

このページでモデルの世界の図をクリックして
”SD ツールをビジネスに適用するプロセス”を開いてください。

準備2

SD に基づくモデリング & シミュレーションにより問題を解決できる可能性が高いと判断できたら、以下の基本方針を作成することから始めます。

SD に基づくモデリング & シミュレーションの基本方針

2008年 月 日

氏名: _____

テーマ: _____

①問題は何か？

取り上げた問題に対する認識と問題の定義を明確に記述する。
具体的には、何(目標変数)を評価して、何(設計変数)を調整して、最適化するかを明確にする。

②問題をどのように認識しているか？

少なくともこの辺りの知識が十分ないと、AsIsモデルの構造すら描けない。
したがって、関係者との認識の共通化も含めて、問題認識について十分詰める必要がある。

③予想している解決策は？

解決策を予測し、それを簡潔に記述する。
自分だけでなく周囲の関係者のメンタルモデルも含めて、形式知・暗黙知を総活用する。

④問題に関係する要素は？

問題に関係する主要な要素名(10~30)をリストアップする。
結局、現状のビジネスのCLDと時系列挙動図、あるいはSDの構造図を描くことになる。
その結果を見ながら、問題点を明らかにして、その問題を解決するための、リンクの加減、ループの加減、要素の加減等を検討したうえで、問題解決のシナリオを構成する。
このように多くの場合、ビジネス・プロセス・モデルのAsIsモデルの構築から始めることが多い。